

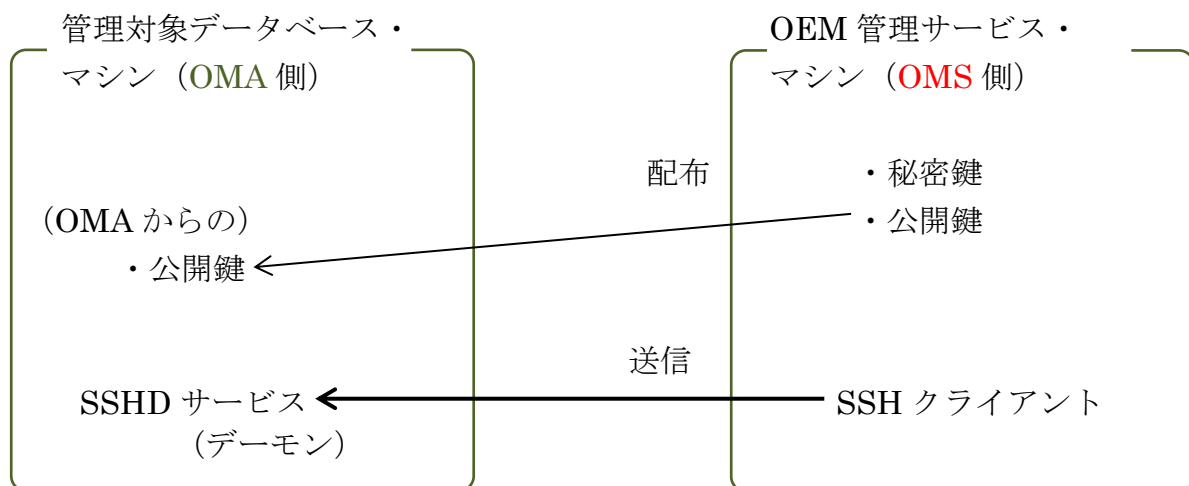
SSH（リモート・ホスト実行コマンド）用の秘密鍵・公開鍵の作成

SSH プログラムの必要な理由と、SSH 動作環境

OMA プログラムのインストールに対して、OMS 側から SSH プログラムを動作させ、OMA 側に関連のファイルを配置させるために、SSH プログラム環境の構築を行う

OMS マシンがクライアント側となり、OMA マシンが受け側（サービス・サーバー）となる

鍵の配置と動作プロセス



鍵の位置について

本来は、SSHD サービスが起動する側が秘密鍵を保持するのがデフォルト構成であるが、OMS インストール時の『鍵の保管設定』では、秘密鍵を SSHD サービス側に保持させてシステム構築を行っている

なお、この保管している鍵の違いについては、意味を持たない

OMA インストールのためは、「片方の鍵で暗号化したデータは、もう片方の鍵でしか複合化出来ない」これだけの機能が、ファイル配信処理時に使用出来ればよい

参考情報

Teraterm を使った SSH 通信の操作方法については、

「~~¥~~セキュリティ対策~~¥~~暗号化~~¥~~TeraTerm による暗号化 SSH 通信の方法.docx」
を参照のこと

UNIX の SSH (リモートホスト実行) コマンドについては、

「~~¥~~セキュリティ対策~~¥~~暗号化~~¥~~Oracle12c について~~¥~~SSH (リモートホスト実行)
コマンド.docx」
を参照のこと

参考資料

https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/install_agent_new.htm

ホスト別の Cygwin と SSH の環境構築 (インストール) 範囲について

OMA 側ホスト

- Cygwin のインストール
- SSHD サービス (デーモン) の動作環境構築
- OMS 側の SSH 用公開鍵の入手
- ~~SSH 用秘密鍵、公開鍵の生成~~

OMS 側ホスト

- Cygwin のインストール
- SSH クライアント・スクリプトの実行
- SSH 用秘密鍵、公開鍵の生成
- ~~OMA 側の SSH 用公開鍵の入手~~

SSH 用秘密鍵、公開鍵の生成の手順

参考資料

https://docs.oracle.com/cd/E74608_01/131/EMBSC/install_agent_new.htm

OMS 側ホスト

~~OMA 側ホスト~~

手順 1.

CMD モードの起動

CMD モードを起動して、カレントディレクトリを Oracle ホーム内の次の場所に移動します。

```
%ORACLE_HOME%/oui/prov/resources/scripts
```

実行例)

```
cd %ORACLE_HOME%\oui\prov\resources\scripts
```

手順 2.

公開鍵秘密鍵生成用スクリプトの実行

OMS ホストで OMS ユーザーとして `sshUserSetupNT.sh` スクリプトを実行し、**管理エージェントのインストール・ユーザー名**と**ターゲット・ホスト** (OMA ホスト) の完全修飾名を渡します。

```
sshUserSetupNT.sh -setup -user <agent_install_user_name> -hosts  
<target_hosts>
```

次の SSH 鍵が作成されます。

```
$HOME/.ssh/id_rsa ← 秘密鍵
```

```
$HOME/.ssh/id_rsa_pub ← 公開鍵
```

※ \$HOME は **OMS** インストール・ユーザーのホーム・ディレクトリを指す

手順 3.

SSH 鍵の Enterprise Manager へのアップロード

EMCC 画面から操作を行います

メニュー「設定」 → 「セキュリティ」 → 「名前付き資格証明」 → 「作成」

[一般特性 (General Properties)] セクション

- ・「資格証明名 (Credential names)」には、資格証明につける名前を入力
- ・「資格証明のタイプ (Credential type)」には、
「SSH キー資格証明 (SSH Key Credentials)」を選択
- ・「有効範囲」には、「 グローバル」にチェック

※ 「グローバル」オプションを選択しないと、「ホスト・ターゲットの追加」ウィザードを使用して、管理エージェントをインストールするための SSH 名前付き資格証明は使用できない

鍵作成の時に指定したユーザー名を入力する

保存

[資格証明プロパティ (Credential Properties)] セクション

- ・秘密 SSH 鍵をアップロードするには、「秘密鍵のアップロード (Upload Private Key)」フィールドに、秘密 SSH 鍵のファイルの場所を指定する
- ・公開 SSH 鍵をアップロードするには、「公開鍵のアップロード (Upload Public Key)」フィールドに、公開 SSH 鍵のファイルの場所を指定する

※ **検索 (Browse)** ボタンを使った GUI によるファイル検索も可能

すべての指定が終わったら、**保存** ボタンをクリックする

手順3. の操作により、公開鍵と秘密鍵が EMCC にアップロードされる

これ以降の公開鍵の配布は、EMCCによって適宜必要なサーバーに配置されるので、ユーザーは、「公開鍵の配布」の操作を行う必要はない